

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会 公開講演会

「大学の教養教育に 授業科目『生活する力を育てる』を！」

後援 日本経済新聞社 朝日新聞社 生活科学系コンソーシアム

趣旨

成熟を迎えた現在の社会では、価値観が多様化しており画一的な規範となる生き方はなく、各個人が総合的な視野で自分自身がどのような人生を送るかを選択する必要がある。健康で健全な豊かな生活（QOLの高い生活）を作り上げていくための生活に関わる諸事を多面的に理解し、自身の生活の場で選択・実践していくためにも、成人期の入り口にあたる10代後半に、生活に関する総合的視点を育てる教養教育の機会を設けることの効果は大きいと考えられる。そこで「体と心の変化」「人と人との関係」「社会の仕組みと生活」「自然環境と人の暮らし」「生活上の具体的問題」など、各分野の専門家から最新の情報を得て授業内容を構成し、大学の教養教育に『生活する力を育てる』を授業科目としてとり入れることを提言したい。

開会挨拶

挨拶

浅島誠氏（日本学術会議第二部部長 産業技術総合研究所
フェロー兼器官発生工学研究ラボ長）

講演

「生活機能の性・年齢別変化：身体教養のススメ」
福永 哲夫氏（日本学術会議第二部会員 鹿屋体育大学学長）

「生活の管理と健康—成長期からの骨の健康づくりと生活習慣の重要性—」
塚原典子氏（日本学術会議連携会員 新潟医療福祉大学准教授）

「少子化の中の子どもの育ちと親としての経験」
無籬 隆氏（日本学術会議連携会員 白梅学園大学教授）

「長寿社会—新しい生活のマネジメント」
工藤由貴子氏（文部科学省）

閉会挨拶

開催日時

平成22年3月4日（木）13:00～16:50

開催場所

日本学術会議講堂

参加無料